

小森野だより

発行
久留米市小森野1-1-1
久留米工業高等専門学校内
同窓会久留米工業会本部
電話 (0942) 39-2743
同窓会ホームページ
https://komorinokai.jimdo.com/
同窓会事務局メールアドレス
reunion.kosen@gmail.com

感謝

同窓会久留米工業会 会長 伊藤 絹子
(工業化学科 第十三回卒業)

令和五年三月十六日に令和四年度卒業式が行われ、令和五年四月五日に令和五年度入学式が行われました。両日とも、同総会より来賓として参列させて頂き有り難うございました。

卒業式では式典終了後、九州大学フィルハーモニーと九州大学男声合唱団コールアカデミーによる素晴らしい演奏と合唱が行われました。その後、コールアカデミーによる校歌指導がありました。

「筑紫なる 清き山水
あつめきて 流れ流るる 筑後川
ひる夜となく 流れ流るる
我らも進まん学びの道を
学びの道を!!」

皆さん覚えていらつしやいますか。「逍遙歌は歌えるが、校歌は歌えない」と言う方もいらつしやるのではないのでしょうか。

この校歌をコールアカデミーが合唱されると、とても素晴らしい曲で別の曲のようでした。校歌指導をして頂き、全員で校歌を歌うことができ嬉しく思いました。

入学式でも式典終了後、九州大学フィルハーモニーによる演奏がありました。その後、在校生（一部の部活動生）による校歌指導があり全員で歌い

ました。指導をしてくれた在校生は上手に歌っていました。

五十年前、私たちが一年生の時に校歌指導をして頂きました。それが何時だったのか不明ですが、和栗校長先生が笑顔で素晴らしい曲だとおっしゃって、年配の女性の方が指導されたことを覚えてます。

松村校長先生が「校歌は、久留米高専生と卒業生全員の時代を超えた共通の合言葉です」と言われましたが、なるほどそうですね。

コロナ禍の中、いろいろな事が制限された状況が続いています。しかし、五月八日以降は新型コロナウイルスの位置づけが五類に移行することなので、それ以降は以前に近い形で出来るようになるでしょう。

私たちが当たり前と思っていたことが本当はそうではなく、何が起るかわからないのが現実です。行事等においても同じで、実施することが出来、参加させて頂けたらありがたいことだと思います。ひとつひとつの出会いに感謝したいと思います。

校長のご挨拶

久留米工業高等専門学校長 松村 晶

同窓会久留米工業会の皆様はお変わりなくお元気にお過ごしでしょうか。校長就任から一年が経ち一サイクルを終えました。

久留米高専でのこの一年間の大きな出来事といえば、まずは八月五日（金）の晩に三年ぶりに開催された筑後川花火大会において、終盤のクライマックスで十号玉の不発弾が本校の弓道場に落下して爆発炎上したことが挙げられました。全国ニュースでも報道されました。弓道場の中で火花が爆発したために、火災が建物の内部にとどまり

周囲への延焼や人災に至らなかったのは不幸中の幸いでした。しかしながら建物は著しく損傷して、内部に置いてあった武具や賞状などの記念の品なども大きく傷んでしまいました。この被災にあたって、本校弓道部には多数の会員各位からご支援とご寄付をいただきました。皆様のご厚情に深く感謝を申し上げます。

弓道部員にとっては思いもしない突然の被災に大きなショックを受けておりましたが、九月初頭の全国大会に気持ちを切り替えて臨んだところ、女子の団体の部で準優勝を収めることが出来ました。思いがけない困難に遭遇してもその直後にこのような好成績を収めた本校の学生諸君を大変誇りに思います。皆様方の厚いご支援が彼らを大いに勇気づけました。大変有難うございました。

弓道場の修復については、建物の損

傷状態の検証や事故の原因究明に日数を要してしまい、まだ具体的な目処が立っておりません。建物自体は再建せねばならず現在その設計を進めています。設計が終われば費用の見積もりが可能になりますので、再建に向けて動き出すと期待しています。

一方、二〇一九年末に発生した新型コロナウイルス禍への対策が、本年五月に感染症法上の第二類「法律に基づき行政がさまざまな要請・関与をしていく仕組み」から第五類感染症の「個人の選択を尊重し、国民の皆様の自主的な取り組みをベースにしたもの」に変更されました。新型コロナウイルス禍が発生してから丸三年以上が経過して、やっと元の生活様式が戻ってきそうな見通しとなりました。もちろんウイルスの性質や発症する病気のものが大きく変わったわけではないので、インフルエンザと同様に引き続き感染への注意と対策が必要です。日本ではまだまだ多くの人がマスクをしています。次第に

マスクは外されていくことでしょう。久留米高専でもこの三年間にわたって授業と共に様々な活動が制限を受けてきましたが、これからはそのような制限を大きく緩めて本来の姿に戻ると期待されます。皆様方による同窓会活動もこれから活気を取り戻していけるものと思います。是非とも直接会って旧交を温める喜びを味わって頂きたいと願っております。

ところで、本校には初代高専校長の

国際会議 ICIBMS 2022 Student Best Paper Award の受賞

専攻科 機械・電気システム工学専攻二年 與田 悟史

令和四年十一月に開催された国際会議 ICIBMS(International Conference on Intelligent Informatics and BioMedical Sciences) 2022において Student Best Paper Award を受賞しました。七年間の高専生活の最後にこのような賞を受賞出来たことを非常に嬉しく思います。

私は畳み込みニューラルネットワーク (CNN: Convolutional Neural Network) の分類精度を向上するために、CNNの畳み込みフィルタの初期値を画像の表現方法の一つである畳み込みスパース表現によって求める手法を提案しました。畳み込みスパース表現は画像の特徴を持つ辞書フィルタと辞書フィルタの分布を表す係数マップによって画像を表現する手法であり、私は畳み込みスパース表現の辞書フィルタがCNNの畳み込みフィルタと同様に画像の特徴を持つ点に着目し、辞書フィルタをCNNの畳み込みフィルタの初期値に設定しました。

今回の学会は私にとって初めての対面形式でのポスター発表であり、自分

和栗明先生が作詞をされた校歌がご

生だけでなく、初めて会う先輩や後輩ともすぐ心が知れます。是非とも卒業生の間でも校歌に慣れ親しんでいた

だいて、会合の場でお互いの気心をつなげる合言葉として活用ください。よろしくお願ひ申し上げます。

同窓生の皆様におかれましては、普段から母校へご関心を寄せて頂き、引き続きご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。皆様のご健康とご多幸を祈念しております。

です。校歌を歌うことによって、同級



生だけでなく、初めて会う先輩や後輩ともすぐ心が知れます。是非とも卒業生の間でも校歌に慣れ親しんでいただいて、会合の場でお互いの気心をつなげる合言葉として活用ください。よろしくお願ひ申し上げます。同窓生の皆様におかれましては、普段から母校へご関心を寄せて頂き、引き続きご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。皆様のご健康とご多幸を祈念しております。



目標を持つその先に

材料システム工学科五年 松田 弦己

この度、久留米高専サッカー部は第五十五回全国高等学校サッカー選手権大会において、史上初の「準優勝」を成し遂げることが出来ました。また、九州大会においても、史上初の単独優勝を達成でき、九州、全国の舞台で、気持ちで負けないサッカーを体現出来たように感じます。

「九州大会で優勝して、全国大会へ出よう」この言葉は、二年前のミーティングでみんなで話し合っただけの目標です。思い返せば、当時は練習に部員が集まらず、無断欠席や遅刻をする人もいました。また、目標が一人一人違い、異なる目標をみんなが持っていました。これでは一体感など出るわけがないし、勝てる試合も勝てない。そこで、チームのみんなの目標を一つにするために、さらにミーティングを重ね、ぶつかり合い、新たな目標がみんなの中に芽生えました。それに伴い、練習の中でも要求の声やそれに応える声かけが増え、強い一体感を持つことが出来ました。これまでの道のりは決して楽なものでは

ありませんでしたが、数々の最高の思い出を手に入れることが出来ました。このメンバーで全国の舞台でプレー出来たことを誇りに思います。

「夢や目標を持つこと」

僕達サッカー部は、夢と目標でここまで上り詰めることが出来ました。それはサッカーだけではなく、どんな困難な事であっても、人は志によって無限に成長出来る力を秘めていると思います。これからは、この経験を糧に夢や目標を見失わず、向上心を持って日々頑張っていこうと思います。

最後になりましたが、日頃よりご指導、ご支援頂いております関係者の方々、久留米高専サッカー部を応援してくださっている全ての方々、皆様のおかげで今年も部活動を行うことが出来ております。久留米高専サッカー部は福岡監督をはじめとした顧問の先生方と共に「全国大会優勝」を目指し、これからも頑張っていきます。全力で戦い抜きますので、これからも熱い応援よろしくお願ひします！



卒業四十周年・還暦記念植樹&同窓会

結城

隆裕 (十八期 機械工学科 昭和五十八年卒業)

令和五年四月二十九日と五月一日に卒業四十周年と還暦を迎えた十八期生が久留米に集合し、午後から校内の同窓会館前で記念植樹の石除幕式(二十四名)、夕方は同窓会(三十三名)、一日は目録寄贈式(十四名)に松村校長と同窓会伊藤会長にも参加頂いた後、学校内見学で学生時代の日々を思い浮かべました。

オンライン会議が容易に出来る環境になり、同窓会の幹事もリモートで出来る気が付きました。

二〇年六月に第一回オンライン同窓会を六名で始め、二か月毎に開催し同級生の連絡網を徐々に広げ、三十名になった還暦の年八月に記念植樹を提案、機械だけではなく、他の学科にも部活の同級生を通じて声を掛け八十名の賛同を得ました。

九月以降、各クラス幹事もオンライン打合せを重ね、三月に寒緋桜植樹、石碑の除幕式をG.W.に決めました。石碑は、同窓会久留米工業会の前会長の國松先輩(國松石材)にお願いすべく、クラス幹事の田中芳勝君に依頼し、剣道部OGで現会長の伊藤先輩から連絡して頂き、「十八期生はそんなに盛り上がりがあるのか!」と快く引き受けて頂きました。

全学科合同での記念植樹は今回が初めてのように、久高専の先輩・同級生との繋がりを実感しました。これを機会に今後も同級生との交流を深めて行きたいと思えます。



記念植樹は、小森野だよりで機械十一期生の記事を読んだのがきっかけでした。コロナ禍となり、同窓会も出来るか分からない状況でしたが、オ

ンライン会議が容易に出来る環境になり、同窓会の幹事もリモートで出来る気が付きました。

二〇年六月に第一回オンライン同窓会を六名で始め、二か月毎に開催し同級生の連絡網を徐々に広げ、三十名になった還暦の年八月に記念植樹を提案、機械だけではなく、他の学科にも部活の同級生を通じて声を掛け八十名の賛同を得ました。

九月以降、各クラス幹事もオンライン打合せを重ね、三月に寒緋桜植樹、石碑の除幕式をG.W.に決めました。石碑は、同窓会久留米工業会の前会長の國松先輩(國松石材)にお願いすべく、クラス幹事の田中芳勝君に依頼し、剣道部OGで現会長の伊藤先輩から連絡して頂き、「十八期生はそんなに盛り上がりがあるのか!」と快く引き受けて頂きました。



第14回 大同窓会の御案内

同窓生の皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げますとともに、日本各地の様々な分野で御活躍のことと拝察いたします。

さて、大同窓会を数年ぶりに開催いたします。諸先輩、後輩の方々とお懇親を深める為にも、お忙しい時期とは存じますが、皆様の多数の御参加をお願いいたします。

記

日時

令和5年12月29日(金) 予定

※詳細変更等は、同窓会公式ホームページ、Facebook等でお知らせいたします。

場所

ホテルニュープラザ久留米

(西鉄久留米駅より徒歩5分)
久留米市六ツ門町16-1 TEL 0942-33-0010



同窓会ホームページ等のご案内

Facebook

<https://www.facebook.com/kurumekosendosokai>

同窓会HP

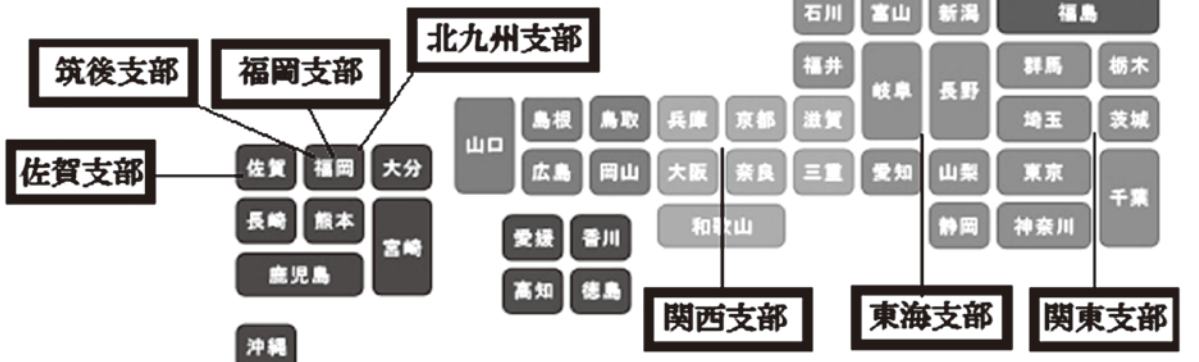
<https://komorinokai.jimdo.com/>



全国支部のご案内

久留米高専同窓会 全国7支部ネットワーク

お問い合わせは、同窓会本部までお願いします。
☎0942-39-2743
E-mail: reunion.kosen@gmail.com



本校卒業生及び専攻科修了生数

(2023年3月現在)

学科名	人員	専攻科名	人員
機械工学科	32	機械・電気システム工学専攻	23
電気電子工学科	37		
制御情報工学科	38	物質工学専攻	15
生物応用化学科	35		
材料システム工学科	40		
合計	182	合計	38

令和5年度入学生数

学科名	人員	専攻科名	人員
機械工学科	41	機械・電気システム工学専攻	21
電気電子工学科	42		
制御情報工学科	43	物質工学専攻	18
生物応用化学科	43		
材料システム工学科	43		
合計	212	合計	39